



緑の募金事業候補応募書

令和 7年 7月 21日

公益社団法人 国土緑化推進機構
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

住 所 兵庫県姫路市
法人・団体の名称 一般社団法人Hidamari
代表者氏名 村田里穂、村田美穂

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

記

1. テーマ（募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載）

生物多様性の保全と回復への貢献

2. 事業名（簡潔に記載。20字以内）

アグロフォレストリーによる森林再生事業

3. 事業目的（この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内）

インドネシア・スマトラ島の、パーム油プランテーションの拡大による森林破壊と生物多様性の消失、人とゾウの軋轢。

4. 事業内容（募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。 複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付）

本事業では、現地NGO「Rimba Satwa Foundation (RSF)」と協働し、これまでパーム油栽培に依存していた農家が、アグロフォレストリー（森林農法）へと転換できるようサポートを行います。
パーム油は市場価格の変動や土地劣化のリスクが高く、農家は経済的に不安定になりやすいです。また、森林の減少によって野生動物、特にスマトラゾウの生息地が狭まり、農地への侵入・被害が頻発しており、地域に住む人々との衝突も深刻化しています。
本事業では、地域固有の在来種や果樹を中心に構成するアグロフォレストリー農地を、1年間で10ヘクタール整備することを目指しています。これにより、失われた植生の回復とともに、農家の生計の多角化、野生動物との緩衝地帯の形成を目指します。

（注） SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

5. 事業場所（位置図を別途添付）

（都道府県・市町村・地番）
インドネシア・スマトラ島リアウ州Pinggir地区、
Sumunai地区で本事業に賛同した農家の土地
（所有者）
各地域の農家

全体面積	255	ヘクタール
実作業面積	10	ヘクタール

6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

インドネシア・スマトラ島リアウ州のPinggir地区およびSemunai地区は、かつては豊かな森林生態系を有していましたが、近年はパーム油プランテーションの急速な拡大により大規模な森林伐採が行われ、自然環境が著しく損なわれています。
地域住民の多くは小規模農家で、現金収入を得る手段としてパーム油に依存してきました。しかし、パーム油は市場価格の変動や土地劣化のリスクが高く、経済的にも不安定な状況に置かれています。また、森林の減少によって野生動物、特にスマトラゾウの生息地が狭まり、農地への侵入・被害が頻発しており、地域社会との衝突も深刻化しています。

7. 事業実施希望期間

令和	8 年	5 月	～	令和	9 年	4 月
----	-----	-----	---	----	-----	-----

8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
5月～6月	農家向け説明会および意向確認、苗木・種子・資材の購入、植栽地準備
7月	農家向けに第1回アグロフォレストリー技術研修を実施
8月～10月	ゾウとの軋轢の緩衝地帯として、村や農地の周辺にアグロフォレストリーの植樹を開始。募金者も作業に参加いただけます。
11月	中間成果の共有、住民ヒアリングを実施
12月～2月	モニタリング調査（委託調査）による植生・ゾウ動向確認
3月～4月	成果レポートや提言資料の作成、次年度事業の準備

9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。
必要に応じて参考資料を添付）

事業完了後の維持管理は、アグロフォレストリーに転換した農家が主体となって行います。苗木の育成状況や生態系の変化は、RSFスタッフが定期的にモニタリングし、病虫害対策や補植など必要な管理を農家と協力して継続的に実施します。また、農家同士の横のつながりを支援し、地域での知見の共有や協働による自立的な管理体制の構築を目指します。
本事業の成果を踏まえ、今後は他地域への展開や、アグロフォレストリー製品のブランド化・販売支援などによる収益性の向上にも取り組みます。さらに、学校や行政を巻き込んだ環境教育や政策提言にもつなげ、持続的かつ広域的な自然共生社会の実現を目指していきます。

10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入 の 部	緑の募金交付金	1,417	
	自己資金	500	アグロフォレストリーで育てた農作物の商品売上、会費
	その他助成金	0	
	合計	1,917	
支出 の 部	行動費	156	ガソリン代2800km(56,000円)、レンタカー借上げ料20日間(10万円)
	環境整備費	0	
	資材費	1,065	苗木3000本(90万円)、種子1万粒(8万円)、手袋、スコップ、シャベルなどの農具10セット(85,000円)
	資材等運搬費	0	
	指導者経費	120	専門家による生態調査・記録の指導
	事務費	76	チラシ・パンフレット2000部印刷(40000円)、アグロフォレストリー技術指導の教材印刷費200部(36000円)
	交付金計	1,417	
	自己資金等計	500	
	合計	1,917	

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	2022年5月20日
連絡先 電話番号	
F A X 番号	
E - m a i l	info@hidamari-no-machi.org
ホームページ	https://hidamari-no-machi.com/index.html
会員数	14
活動目的	地球環境の危機に対し森林再生・環境教育・共生の仕組みづくりを通じて、すべての命が調和して生きられる世界を創ること
主な活動内容	スマトラ島の森林再生、心と環境についての教育
主な活動地域	日本全国、インドネシアのスマトラ島
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	スマトラ島の現地NGOと地域の農家とともに、計60ヘクタールのアグロフォレストリー農地をつくり、在来種を中心とした多様な作物の栽培や植樹を通じて、森林の再生と農家の収入安定の両立を進めてきました。また、アグロフォレストリーで育てた香辛料を使用したクラフトコーラを開発し、日本での販売を通じてアグロフォレストリーの需要を高めてきました。

実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

- SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
- チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
- 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	貧困をなくすこと	☒	アグロフォレストリー農業への転換支援を通じて、パーム油依存から脱却し、多様な作物による安定した収入源を農家に提供します。これにより、経済的に脆弱な地域住民の生計向上と生活の質の改善に寄与します。
2	飢餓をなくすこと	☐	
3	健康であること	☐	
4	質の高い教育	☐	
5	ジェンダーの平等	☐	
6	清潔な水と衛生	☐	
7	再生可能エネルギー	☐	
8	適切な良い仕事と経済成長	☐	
9	新しい技術とインフラ	☐	
10	不平等を減らすこと	☐	
11	持続可能なまちと地域社会	☒	人とゾウの軋轢を緩和し、安全な暮らしを守るとともに、地域の自然資源を活用した農業モデルを導入することで、持続可能な土地利用とコミュニティの強化を図ります。
12	責任を持って生産し、消費すること	☐	
13	気候変動への対策	☒	森林再生と多様な樹種の導入によって二酸化炭素の吸収量を高め、土壌の保全と気候変動の緩和に貢献します。
14	海のいのちを守ること	☐	
15	陸のいのちを守ること	☒	在来植物の植栽による生態系の回復と、ゾウの移動経路確保を通じて野生動物の保全を実現します。人と野生動物が共存できる環境を整備することで、陸域生物多様性の維持に貢献します。
16	平和で公正な社会	☐	
17	目標のために協力すること	☒	現地NGO、地域住民、専門家、日本の団体や企業との連携を深め、知識・技術・資源を共有しながら、共通の目標に向けて協働する多国間・多主体のパートナーシップを推進します。

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>